

4 調査・研究

1 刊行図録

叢書 22 「鏑木清方と昭和の美人画

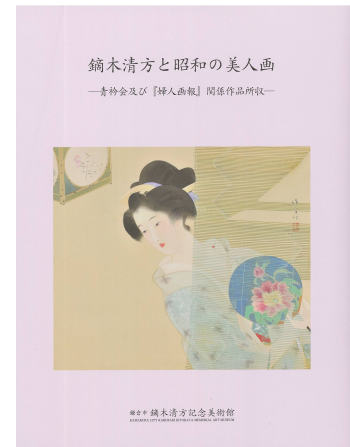
—青衿会及び『婦人画報』関係作品所収—

発行年月日 令和3年2月20日

掲載内容

清方芸術の集大成ともいふべき昭和期の美人画作品を中心に掲載し、同時期の弟子たちによる「青衿会」の活動と、『婦人画報』に掲載された清方の口絵や記事など関係資料と作品をまとめた。

- ・ 昭和の美人画
- ・ 『婦人画報』口絵／菊池幽芳著『お夏文代』木版口絵
- ・ 青衿会展出品作品
- ・ 青衿会関連資料
- ・ 『婦人画報』掲載鏑木清方執筆記事・談話／関連記事等
- ・ 『婦人画報』掲載鏑木清方挿絵とあらすじ
- ・ 鬼頭美奈子「構図から探る美人画の変容 —横画面に見る近代性—」
- ・ 今西彩子「昭和前期の清方と弟子たち —清方の《築地明石町》から《妓女像》までと、弟子たちへ及ぼした影響について—」
- ・ 特別寄稿 根本章雄「孫から見た忘れぬ思い出(二)」
- ・ 篠原聡「鏑木清方と青衿会の画家たち」
- ・ 『婦人画報』挿絵等目録
- ・ 昭和の美人画・青衿会関連事項及び美術記事目録



2 デジタルアーカイブ

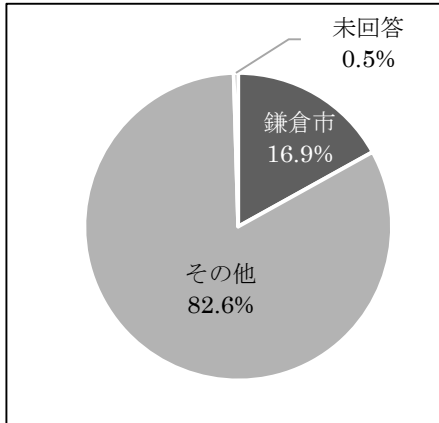
令和3年(2021)3月に、デジタルアーカイブ「収蔵品データベース」に、収蔵する下絵の画像と情報、解説を公開した。(<http://www.kamakura-arts.or.jp/kaburaki/collection/>)

今回公開した下絵の点数は241点。

3 アンケート概要

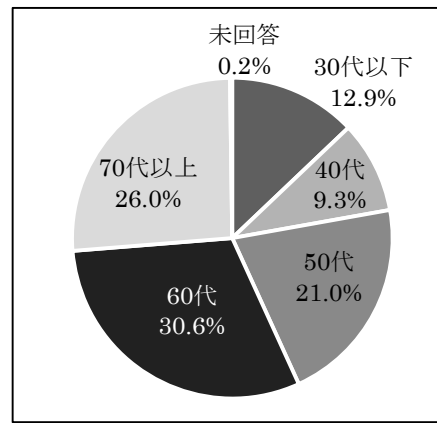
美術館運営の参考として、入館者の利用意向を把握する目的からアンケート調査を実施している。ここでは、特別展「三遊亭圓朝没後 120 年 あやし、うるはし ―清方と圓朝―」(10/24～11/29)と企画展「はなやぐ春 よろこぶ春 ―明治・大正・昭和の正月―」(12/4～1/11)を対象に実施したアンケートの結果をまとめた。

(1) 居住地域



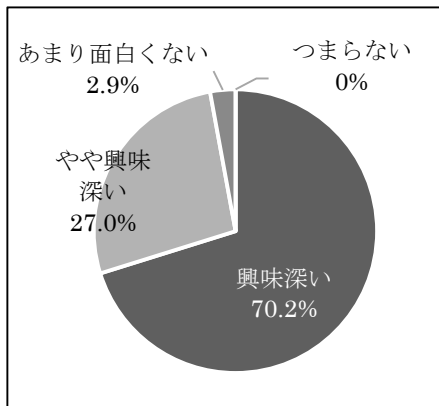
その他が8割以上を占めている。例年とアンケートの内容が異なるため、比較はできない。

(2) 年齢



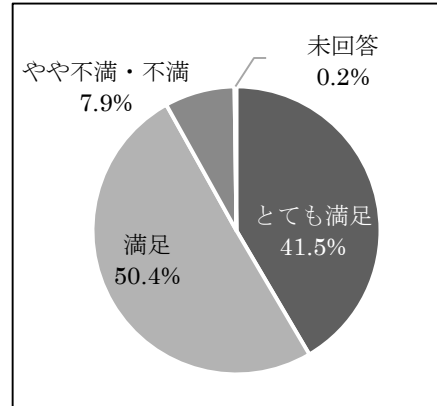
50代～70代が7割以上を占めている。この年齢分布は、平成30、令和元年度の集計時とほとんど変わっていない。

(3) 展覧会評価



興味深い、やや興味深いが9割以上を占め、つまらないという回答は無かった。特に美人画作品のほか、特別展と企画展でそれぞれ出品した幽霊画や押絵羽子板などが興味深いとの意見があった。

(4) 満足度



とても満足、満足が9割以上を占めた。展示作品・内容のほか、静かで清潔な館内などが評価された。

5 広報・宣伝

- 電柱広告掲出
- フリー鎌倉観光ガイド広告掲出
- フリー鎌倉英語ガイド広告掲出
- 江ノ電「藤沢駅」「長谷駅」「鎌倉駅」展覧会ポスター掲出

この他、ホームページ上での情報提供を随時行い、鎌倉市発行の「広報かまくら」をはじめ新聞や雑誌、観光情報ポータルサイト等への展示事業及び普及事業についての情報提供を行っている。また、ご協力いただける近隣の店舗・事業所等に、展覧会ごとのポスター・チラシの掲示及び割引券の設置を依頼している。

新聞等への情報掲載	115
来館取材対応	1

6 共催・連携

新型コロナウイルス感染拡大により、例年実施してきた近隣の文化施設との連携企画や、地域 NPO と協力して実施している普及活動など、すべて実施を見合わせた。

7 企画協力

令和 2 年度実施なし。